

エホバが行うことは全て正しいと信じていますか

「神は岩のような方で、行うことは完全、神の道は全て公正である。決して不公正ではなく、信頼できる神。正しく、真っすぐな方」。申命記 32:4

3 番の歌 私たちの力、希望、確信

何を学ぶか*エホバとエホバが責任を委ねている人たちに対する信頼を深めるのは大切なことです。そうすることが、今大切なのはなぜでしょうか。また、将来の難しい状況に備えることになるのはなぜですか。この記事ではこうした点を考えます。

1-2. (ア) 現代、多くの人が権力を持っている人を信頼することに難しさを感じているのはなぜですか。(イ) この記事ではどんなことを考えますか。

現代、多くの人は権力を持っている人を信頼することに難しさを感じています。法律の面でも行政の面でも、富や権力を持っている人が優遇され、貧しい人が公正に扱われていないからです。まさに聖書がこう述べている通りです。「人は人を支配し、人に害を及ぼしてきた」。(伝 8:9 私はこの全てを見た。地上で行われた全てについて真剣に考えた。これまでずっと、人は人を支配し、人に害を及ぼして(*人を傷つけて/人の損失となって)きた) 宗教の面でも、指導者たちが悪いことを行っているために、神への信仰を失ってしまった人たちがいます。それで、エホバやエホバが責任を委ねている人たちを信頼するよう、聖書を学び始めた人を助けるのは、私たちにとって簡単なことではありません。

2 エホバや組織を信頼すべきなのは、聖書を学び始めた人だけではありません。長年聖書を学んできた人たちも、エホバがいつも正しいことを行うということを覚えておく必要があります。エホバへの信頼を試すような問題にぶつかることがあるからです。この記事では、そうした状況のうち3つを取り上げます。(1) 聖書を読んでいる時、(2) エホバの組織から指示を受けた時、(3) 将来難しい事態に直面する時です。

(1) 聖書を読んでいる時

3. 聖書を読んでいる時、エホバへの信頼がどのように試されるかもしれませんか。

3 聖書を読んでいると、人々に対するエホバの扱い方やエホバの決定に関して、疑問を感じることもあるかもしれません。例えば、民数記には、安息日に薪を集めたイスラエル人を死刑にするようエホバが命じたことが載せられています。一方、サムエル記第二には、その数百年後、姦淫と殺人の罪を犯したダビデをエホバが許したことが書かれています。(民 15:32, 35。サム二 12:9

、13) こうした記述を読むと、「**重大な罪を犯したダビデが許されたのに、それほど大した罪ではないように思えることをしたイスラエル人が死刑**になったのはなぜだろう」と思うかもしれません。この疑問に答えるために、聖書を読む時に**覚えておくべき、3つの大切なポイント**について考えていきましょう。

4. エホバはいつも正しい判断を下す方です。そのことへの**信頼を深める**上で、**創世記 18 章 20、21 節**と**申命記 10 章 17 節**はどのように役立ちますか。

4 **聖書には全ての情報が載せられているわけではない。**私たちは、**ダビデが心から悔い改めた**ということを知っています。(詩 51:2-4 **私の過ちをことごとく洗い去り、私を罪から清めてください。3 私は自分の違反をよく知っています。私の罪はいつも私の前にあります(*頭から離れません)。4 あなたに、ほかでもなくあなたに対して(d*あなただけに)罪を犯しました。あなたから見て悪いことを行いました。それで、あなたが話す事は正しく、あなたの裁きはもっともです**) では、薪を集めて死刑になったイスラエル人についてはどうでしょうか。その人は、自分がしたことを悪かったと思っていたのでしょうか。それ以前にもエホバのおきてを破ったことがあるのでしょうか。与えられていた警告を無視したり退けたりしていたのでしょうか。聖書には何も書かれていません。でも私たちは、**エホバが「決して不公正ではない」**ということを確認しています。(申 32:4 **神は岩のような方で、行うことは完全、神の道は全て公正である。決して不公正ではなく、信頼できる神。正しく、真っすぐな方**) **エホバは全ての事実を知**っていて、それに基づいて判断を下します。**人間とは違い、うわさや偏見**などによって**判断を狂わ**れてしまうということは**ありません**。(創世記 18:20、21 **そこでエホバは言った。「ソドムとゴモラの罪は極めて重く、彼らについての苦情の叫びはあまりにも大きいです。21 私は下って行って確かめます。私に届いた叫び通りのことが起きているかどうかを知りたいのです」**、申命記 10:17 **皆さんの神エホバは神の中の神、主の中の主、偉大で力強く、威厳に満ちる神であり、誰をも不公平に扱わず、賄賂を受け取りません**を読む。) エホバとエホバの基準について学べば学ぶほど、**エホバがいつも正しい判断を下す**、ということをいっそう信頼できるようになります。聖書を読んでいて、**疑問に思う点の答えが今は分からないとしても**、エホバについてよく知っているなら、「**エホバが行うことは全て正しい**」ということを確認できます。(詩 145:17 **エホバが行うことは全て正しい。揺るぎない愛に基づいて物事を行う**)

5. **私たちは不完全であるために、どんな判断を下してしまうことがありますか。**(「**不完全さは見方をゆがめる**」の囲みも参照。)

5 **人は不完全なので、正しく判断できないことがある。**私たち人間は、**神に似た者として造られているので、人が公平に扱われることを心から願**います。(創 1:26 **神は言った。「私たちに似た者として人を造ろう**) とはいえ、**不完全**であるために、**全ての情報を知っていると思う時であっても、正しい判断を下せないことがあります**。例えばヨナは、**エホバがニネベの人たちに憐れみを示すこと**にした時、**不愉快に感じ**ました。(ヨナ 3:10-4:1 **このことはヨナにとって非常に不愉快だった。彼は激しく怒った**) しかし、**エホバが憐れみ**を示したので、**12 万人を超える悔い改めたニネベの人たちが命を救われ**ました。間違っていたのは、エホバではなくヨナだったのです。

不完全さは見方をゆがめる



私たちは不完全なので、エホバと同じ見方ができないことがあります。エホバよりも大目に見てしまったり、厳しく見えてしまったりするのです。（サムー 16:7 人間の見方と神の見方は違う。人間は目に見えるものを見るが、エホバは心の中を見る）それで、エホバの決定は本当に正しいのだろうか、と疑問に思うことがあるかもしれません。とはいえ、不完全な私たちは曇っている眼鏡を掛けているようなものです。眼鏡が曇っていると、どれほど目を凝らしてもきちんと見ることはできません。同じように、私たちは不完全なので、エホバの決定を理解できないことがあるかもしれません。見方が間違っているのは私たちであって、エホバではないのです。（エゼ 18:29 イスラエル国民よ、私の行いは不公正なのだろうか。あなたたちの行いが不公正なのではないか』）

6. エホバには自分の決定について私たちに説明する責任がないのはなぜですか。

6 エホバには自分の決定に関して人間に説明する責任はない。確かにエホバは、ご自分がしたことやこれからしようとしていることについて、ご自分に仕える者たちの意見に耳を傾けたことがあります。（創 18:25 邪悪な人と一緒に正しい人も滅ぼして、正しい人と邪悪な人を同じ目に遭わせるようなことを、あなたがなさるはずはありません。ヨナ 4:2, 3 あなたが思いやり(*慈しみ)があつて憐れみ深い神で、すぐに怒らず、揺るぎない愛に満ち、災いのことを悲しむ方であるのを知っていたのです。3 エホバ、どうか私の命を取り去ってください。生きているより死んだ方がましです）そして、その理由について説明したこともあります。（ヨナ 4:10, 11 「あなたは、自分で手間をかけたわけでも育てたわけでもないヒョウタンを惜しんでいる。それは一夜にして育ち、一夜にして枯れた。11 一方、大都市ニネベには、何が良くて何が悪い(*右と左の違い)を知らない 12 万人以上の人や多くの家畜がいる。私がニネベを惜しむのはもっともなことではないか」）とはいえ、エホバにはそうする責任があるわけではありません。エホバは創造者なので、ご自分の行動について人間に許可を求める必要はないのです。（イザ 40:13, 14 誰がエホバの聖なる力(*エホバの考え)を測れるか(if*理解できるか)。誰が助言者として神を教えられるだろうか。14 神は理解するために誰に助言を求めたというのか。誰が神に公正の道を教え、知識を与え、真の理解の道を示すのか。55:9 天が地より高いように、私の行い(*道)はあなたたちの行いより高く、私の考えはあなたたちの考えより高い）
(説明しない場合でも、被造物の福祉を気遣うエホバの意図があることがある)

(2) 指示を受けた時

7. 私たちはどんなことに難しさを感じるかもしれませんか。なぜですか。

7 私たちは、エホバがいつも正しいことを行うということは全く疑いません。それでも、エホバが責任を委ねている人を信頼するのは、難しいことがあります。組織の中である程度の責任を委ねられている人について、「エホバの指示に従っているのだろうか、それとも自分のやり方に従っているのだろうか」と疑問に思うことがあるかもしれません。聖書時代の人たちにも、同じようなことがあったでしょうか。3節で挙げた例について、もう一度考えてみましょう。安息日に薪を集めた人は死刑になりました。その人の親族は、「モーセはこの死刑宣告について、本当にエホバの指示を求めたのだろうか」と思ったかもしれません。ダビデはヘト人ウリヤの妻と姦淫を犯しましたが、死刑にはなりません。それで、ウリヤの友人は、「ダビデは王としての立場を利用して、罰を逃れたのではないか」と思ったかもしれません。エホバはご自分が責任を委ねている人たちのことを信頼しています。ですから、私たちはそうした人たちのことを信頼しないなら、エホバを信頼していないことになります。

8. 現代のエホバの組織は、使徒 16 章 4, 5 節に記されている型にどのように従っていますか。

8 現代、エホバは「忠実で思慮深い奴隷」を用いて、ご自分の組織の地上の部分の導いています。（←マタ 24:45）この奴隷は 1 世紀の統治体と同じように、世界中のエホバに仕える人たちの見守り、会衆の長老たちに指示を与えています。（使徒 16:4, 5 一行は幾つもの町を通過して、エルサレムにいた使徒や長老たちが下した決定を守るように伝えた。5 こうして、会衆は信仰を強められ、日々、人数が増えている）そして、長老たちが会衆の中でその指示を実行します。私たちは、組織や長老たちからの指示に従うなら、エホバの物事の扱い方が正しいと信じていることを示せるのです。

9. どんな場合に長老たちの決定に従うのを難しく感じるかもしれませんか。なぜですか。

9 時には、長老たちの決定に従うのを難しく感じることもあるでしょう。例えば、最近では王国会館をいっそう有効に活用するために、多くの会衆や巡回区が再編成されています。それで、長老たちから、別の会衆に移動してくれないか、と頼まれるかもしれません。そういう場合、友達や家族と別れるのは嫌だ、と思うかもしれません。確かに、長老たちは誰をどの会衆に割り当てるかについて神から直接指示を受けているわけではありません。そうしたことを考えると、長老たちの決定に従うのを難しく感じることもあるでしょう。とはいえ、エホバは長老たちを信頼していて、こうした決定を行う責任を委ねています。ですから、私たちも長老たちを信頼する必要があります。*事情によっては、現在の会衆にとどまることが必要な場合もあるかもしれません。「わたしたちの王国宣教」2002 年 11 月号の「質問箱」を参照。

10. ヘブライ 13 章 17 節からすると、長老たちに協力する必要があるのはなぜですか。

10 私たちは、長老たちの決定を支持する必要があります。その決定が、私たちが願っていたものとは違うとしてもそうです。なぜでしょうか。支持することによって、エホバに仕える人たちの一致を守ることができるからです。（エフェ 4:2, 3 いつも謙遜で(*自分を低く見て)温和であり、辛抱し、愛を抱いて互いに寛容であってください。3 平和という絆で結ばれ、聖なる力による(*精神の)一致を保つよう真剣に努力してください) 全ての人が長老団の決定に謙遜に従うなら、会衆はいっそう成長していきます。（ヘブライ 13:17 皆さんを教え導いている(*皆さんの中で率先している)人たちに従い、進んで応じてください

。その人たちは皆さんを見守っており、そのことに関して責任を問われることになります。それで、その人たちが喜んで働けるようにしてください。もし嘆きながら働くことになれば、それは皆さんのためになりません（読む。）さらに重要なこととして、私たちはエホバから会衆の世話を委ねられている人たちに協力することによって、エホバを信頼していることを示せるのです。（使徒 20:28 自分自身と群れ全体に注意を払ってください。神が聖なる力によって皆さんを群れの監督に任命しました。神の会衆を牧者として世話するためであり、その会衆を神は自分の子の血によって買い取った）

11. 長老たちからの指示に対する信頼を深めるために、どんなことができますか。

11 長老たちからの指示に対する信頼を深めるために、どんなことを覚えておくといよいでしょうか。長老たちは、会衆に関係する事柄を考慮する際、エホバに聖なる力を求めて祈ります。また、聖書の教えや組織からの指針に注意深く従っています。そして、エホバに喜んでいただくことや、兄弟姉妹にとって本当にためになることを行いたいと心から願っています。さらに、兄弟姉妹をどのように世話するかについて、神の前で責任を負っているということを理解しています。（ペテロ 5:2, 3 皆さんに委ねられた神の羊の群れを世話してください。強いられてではなく、神の前で進んで監督として奉仕し(*進んで群れを注意深く見守り)、不当な利益を得ようとしてではなく、真剣な態度で世話しましょう。3 神の財産である(*神から委ねられた)人たちに対して威張ったりせず、群れの模範となりましょう) 考えてみてください。この世界が人種や宗教や政治によって分裂している一方で、エホバの証人は、ただひとりの真の神を一致して崇拝しています。これは、エホバの助けがあるからこそ可能になっているのです。

12. 長老たちは、罪を犯した人が悔い改めているかどうかを見極めるために、どんなことを考慮しますか。

12 エホバは長老たちに、会衆を清く保つという重い責任を委ねています。それで、クリスチャンが重大な罪を犯した場合、長老たちはその人が会衆にとどまれるかどうかを判断するよう求められています。長老たちは、その人が自分が犯した罪を本当に悔い改めているかどうかを見極めます。その人は、口では悔い改めていると言うかもしれませんが、自分が行ってしまったことを本当に憎んでいるのでしょうか。同じ罪を二度と繰り返さないと決意しているのでしょうか。一緒に過ごす人から悪い影響を受けて罪を犯してしまったのであれば、そうした人との付き合いを断つことを心に決めているのでしょうか。長老たちは、祈りで助けを求めつつ、聖書を注意深く調べるとともに、罪を犯した人が自分の行いについてどんな態度を示しているかを考慮します。そして、その人が会衆にとどまれるかどうかを判断します。場合によっては、その人は排斥されるかもしれません。（コリネ 5:11-13 それで、私は今こう書きます。兄弟と呼ばれる人で、性的に不道德な人(*), 貪欲な人、偶像を崇拝する人、ののしる人、酩酊する人、脅し取る人がいれば、そのような人とは接するのをやめなさい。一緒に食事をするともなりません。12 私は外部の人たちを裁く立場にあるのでしょうか。皆さんは内部の人たちを裁くのであり、13 神が外部の人たちを裁くではありませんか。「皆さんの中から悪い人を除きなさい」)

13. 友達や親族が排斥された場合、どのように感じることもあるかもしれませんか。

13 どんな時に、長老たちに対する信頼が試されることがあるでしょうか。誰かが排斥された場合、その人が親しい友達や親族でなければ、長老たちの決定を受け入れるのはあまり難しくないか

もしも。では、親しい人が排斥された場合はどうですか。「長老たちは本当に全ての情報をきちんと調べた」のだろうか。本当にエホバの方法で判断したのだろうか」と疑問に思うかもしれません。では、長老たちの決定に対して正しい見方を保つ上で、どんなことが助けになるでしょうか。

14. 親しい人が排斥された場合、長老たちの決定に対して正しい態度を保つ上で、どんなことが助けになりますか。

14 排斥はエホバが取り決めたものであり、会衆のためにも罪を犯した人のためにもなる、ということ覚えておく必要があります。罪を犯しても悔い改めない人が会衆にとどまることを許されるなら、周りの人に悪い影響が及んでしまいます。（ガラ 5:9 少しのパン種が生地全体を発酵）その人は、自分が犯した罪の重大さを理解しないかもしれません。また、エホバとの絆を取り戻すために考えや行動を改めようという気持ちにもならないかもしれません。（伝 8:11 悪い行いに対する刑罰が速やかに下されていない。それで人は平気で悪を行うようになっている）長老たちは、悔い改めない人を排斥するという責任を真剣に受け止めています。古代イスラエルの裁判人と同じように、自分たちが「人のためではなくエホバのために裁」いていることを理解しているのです。（代二 19:6, 7 裁判人たちに言った。「自分がすることをよく考えなさい。皆さんは人のためではなくエホバのために裁くからです。判決を下す時、神は皆さんと共にいてくださいます。7 皆さんがエホバを畏れますように。慎重に事を行いなさい。私たちの神エホバには不正や不公平がなく、賄賂を受け取ることもない）

(3) 今エホバを信頼するなら将来に備えることができる



大患難の時に与えられる指示に進んで従う上で、どんなことが助けになりますか。（15 節を参照。）

15. エホバからの指示に今従うことがこれまでになく重要なのはなぜですか。

15 この体制の終わりが近づいているので、エホバがいつも正しいことを行うと信じることはこれまでになく重要です。なぜなら、大患難の時には、従いにくく理解に苦しむような指示を受けるかもしれないからです。エホバは、私たち一人一人に直接指示を与えることはありません。おそ

らく、責任を委ねている兄弟たちを通して与えることでしょう。そうした時に、与えられた指示を疑って、「これは本当にエホバからのものだろうか。兄弟たちが勝手に考えたのではないだろうか」などと考えている場合ではありません。この最も緊迫した重要な時に、私たち一人一人はエホバと組織への信頼を保つでしょうか。その答えは、エホバが責任を委ねている人たちから与えられる指示に、私たちが今どのように応じているかに表れます。そうした指示に今進んで従っているなら、大患難の時にも同じようにできるでしょう。（ルカ 16:10 **ごく小さなことに忠実な人は多くのことにも忠実**であり、ごく小さなことで不正をする人は多くのことでも不正をします）

16. エホバの裁きが正しいと信じているかどうかは、近い将来どのように試されますか。

16 この体制が終わる時に下されるエホバの裁きについても考えてみましょう。今私たちは、エホバの証人ではない親族を含め、多くの人たちがエホバに仕えるようになってほしいと願っています。とはいえ、ハルマゲドンの時には、エホバがイエスを用いてそうした人たちが新しい世界に入れるかどうかを判断します。（マタ 25:31-33 **人の子は栄光を帯びて、全ての天使と共に来ると、その時、栄光の座に座ります。32 全ての国の人々が彼の前に集められ、人の子は、羊飼いが羊をやぎから分けるように、人々を分けます。33 そして羊を自分の右に、やぎを自分の左に置きます。テサ二 1:7-9**…その際イエスは、強力な天使たちと共に天から現れ、8 燃え盛る火を伴って、神を認めない人々と、私たちの主イエスについての良い知らせに従わない人々に報復します。9 こうした人々は、永遠の滅びという処罰を受け、主の前から退けられ、主の偉大な力から切り離されます）**誰がエホバの憐れみを受けるか**を決めるのは私たちではありません。（マタ 25:34 **それから王は、右にいる人たちに言います。『さあ、私の父に祝福された人たち、世が始まって以来あなたたちのために用意されている王国を受けなさい、41**それから王は、左にいる人たちに言います。『災いを宣告された人たち、私から離れ、**悪魔と邪悪な天使たちのために用意された永遠の火に入りなさい、46**この人たちは**永遠の死**を迎え、正しい人たちは**永遠の命**を受けます）その時、**私たちはエホバの裁きが正しいと信じる**でしょうか。それとも、その**裁きを受け入れられずに、エホバから離れてしまう**でしょうか。将来エホバのことを 100%信頼するためには、**今エホバに対する信頼を深め**ておく必要があります。

17. この体制が終わる時に下されるエホバの裁きの結果、どんな素晴らしいことが実現しますか。

17 エホバの裁きによって**実現**する**新しい世界の様子**について**想像**してみましょう。**間違った宗教**はありません。**貪欲な商業体制**もありません。これまでずっと人々を抑圧し、苦しめてきた**政治体制**も、もうありません。**病気や老化や愛する人の死**を経験することももはやなくなります。**サタン**と**邪悪な天使たち**は 1000 年の間、人を惑わすことができなくなり、彼らの**反逆によって生じた悪い事柄**も全てなくなります。（啓 20:2, 3 **その天使は、あの初めの蛇である竜、悪魔サタンを捕らえて、1000 年間動けないように縛った。3**そして竜を底知れぬ深みに投げ込み、そこを閉じて封印し、1000 年が終わるまで竜がもはや人々を惑わさないようにした）その時私たちは、**エホバがいつも正しいことを行うと信じて本当に良かった、と感じる**ことでしょう。

18. 民数記 11 章 4-6 節、21 章 5 節にあるイスラエル人の例から、どんなことを学べますか。

18 **新しい世界に入った後も、エホバへの信頼を試されることがある**でしょうか。**エジプトで奴隷だったイスラエル人が自由になったすぐ後、どんなことが起きたか**、考えてみましょう。一部の

人はエジプトで食べていた物を懐かしく思い出し、エホバが与えてくださったマナに関して文句を言いました。（民数記 11:4-6「誰が肉を食べさせてくれるのか。5 エジプトでただで食べていた魚が本当に懐かしい。それに、キュウリやスイカ、ネギ、タマネギ、ニンニクもだ。6 それが今、私たちは痩せ衰えている。目にするのはこのマナばかりだ」; 21:5 民は神とモーセを何度も非難し、こう言った。「どうして私たちをエジプトから連れ出して荒野で死なせるのか。食べ物も水もない。私たちはこの貧弱なパンにうんざりした(*を憎悪するようになった)」を読む。）大患難が終わった後、私たちも同じように思うことがあるでしょうか。大患難の後片付けをして地球をパラダイスに変えていくためには、多くのことを行わなければならないでしょう。初めのうちは不便なこともあるかもしれません。そうした時、エホバから与えられているものに関して文句を言うのでしょうか。エホバが与えてくださっているものに対して、今感謝の気持ちを深めるなら、将来も同じように感謝の気持ちを持つことができるでしょう。

19. この記事ではどんな大切なことを学びましたか。

19 エホバはいつも正しいことを行う方です。私たちはそのことを確信する必要があります。そして、エホバから責任を委ねられている人たちを信頼することも大切です。エホバが預言者イザヤを通して語った、次の言葉を覚えておきましょう。「平静を保ち、信頼するなら、力を得る」。（イザ 30:15「あなたたちは、私のもとに戻って休むなら、救われる。平静を保ち、信頼するなら、力を得る」）

次のような場面で、エホバがいつも正しいことを行うと信じる上で、どんなことが助けになりますか

I. 聖書を読んでいる時

- ・ S04（聖書には全ての情報が載せられているわけではない）エホバが「決して不公正ではない」ということを確信している。決して不公正ではなく、信頼できる神。正しく、真っすぐな方）エホバは全ての事実を知っていて、それに基づいて判断を下せる。人間とは違い、うわさや偏見などによって判断を狂わされてしまうということはない。エホバとエホバの基準について学べば学ぶほど、エホバがいつも正しい判断を下す、ということをついそう信頼できるようになる。
- ・ S05（人は不完全なので、正しく判断できないことがある）神に似た者として造られているので、人が公平に扱われることを心から願うが、不完全であるために、全ての情報を知っていると思う時であっても、正しい判断を下せないことがある。例えばヨナは、エホバがニネベの人たちに憐れみを示すことにした時、不愉快に感じた。
- ・ （不完全さは見方をゆがめる）不完全な私たちは曇っている眼鏡を掛けているようなもので、どれほど目を凝らしてもきちんと見ることはできない。私たちは不完全なので、エホバの決定を理解できないことがあっても、見方が間違っているのは私たちであって、エホバではない。
- ・ S06（エホバには自分の決定に関して人間に説明する責任はない）エホバは、ご自分がしたことやこれからしようとしていることについて、ご自分に仕える者たちの意見に耳を傾けたことや、理由について説明したことはあっても、そうする責任があるわけではなく、ご自分の行動について人間に許可を求める必要はない。（説明しない場合でも、被造物の福祉を気遣うエホバの意図があることがある）

II. 指示を受けた時

- ・ S07 エホバが責任を委ねている人を信頼するのが難しいことがあっても、信頼しないなら、エホバを信頼していないことになる。
- ・ S08 組織や長老たちからの指示に従うなら、エホバの物事の扱い方が正しいと信じていることを示せる。

- ・S09 エホバは長老たちを信頼していて、会衆や巡回区が再編成による移動依頼をすることがあるが、こうした決定を行う責任を委ねているので、長老たちを信頼し従う必要がある。
- ・S10 長老たちの決定が私たちが願っていたものとは違うとしても、謙遜に従い支持することによって一致が守られ、会衆はいつそう成長できる。さらに重要なこととして、私たちはエホバから会衆の世話を委ねられている人たちに協力することによって、エホバへの信頼を示せる。
- ・S11 長老たちは、会衆に関係する事柄を考慮する際、①エホバに聖なる力を求めて祈り、②聖書の教えや組織からの指針に注意深く従い、③エホバに喜んでいただくことや、兄弟姉妹にとって本当にためになることを行いたいと心から願っていて、④兄弟姉妹をどのように世話するかについて神の前で責任を負っている—ことを覚えておいて、その指示への信頼を深める。
- ・S12-14 排斥はエホバが取り決めたもので、会衆のためにも、罪を犯した人のためにもなる。それで、例えば身近な人が排斥されても、会衆を清く保つという重い責任を果たしてくださる長老による決定を支持する必要がある。

Ⅲ. 将来、難しい状況に直面する時

- ・S15 大患難の時には、従いにくく理解に苦しむような指示を受けるかもしれないため、エホバがいつも正しいことを行うと信じることはこれまでになく重要。最も緊迫した重要な時に、私たち一人一人がエホバと組織への信頼を保てるかは、長老たちから与えられる指示に今どのように応じているかに表れる。
- ・S16 ハルマゲドンの時にエホバがイエスを用いて誰が新しい世界に入れるかどうかを決められて、私たちが判断する訳ではない。今エホバに対する信頼を深めておかないと、裁きを受け入れられずに、エホバから離れてしまう危険がある。
- ・S18 大患難の後片付けをして地球をパラダイスに変えていく苦労や不便なこともあり、新しい世界に入った後も、エホバへの信頼を試されることがある。そうした時にエジプトの奴隷状態から解放されたのにエホバから与えられているものに文句を言ったイスラエル人のようにならないよう、今感謝の気持ちを深める必要もある。

98 番の歌 聖書は神の言葉

^ (申 32:4) 神は岩のような方で、行うことは完全、神の道は全て公正である。決して不公正ではなく、信頼できる神。正しく、真っすぐな方。

^1 節 (伝 8:9) 私はこの全てを見た。地上で行われた全てについて真剣に考えた。これまでずっと、人は人を支配し、人に害を及ぼして*きた。

または、「人を傷つけて」、「人の損失となって」。